



1歳ですよろしく



重信しげのぶ 匠たくみくん
(新立)

平成15年5月7日

父 和幸さん
母 志保さん



うちのお宝ぼっちゃん、かわいいままでいてね♥

日野由麻ひのゆまちゃん
(徳丸)

平成15年5月18日

父 邦宏さん
母 直美さん



満一歳おめでとう。今の笑顔で、すくすく育ててね。

6月、1歳になられるお子さんの写真を募集しています。背景が明るい写真をお持ちの上、5月6日(木)~10日(月)の執務時間中に役場3階総務課秘書広報係へ(先着6名まで)。

緑の下のチカラ持ち 自治宝くじ助成事業

平成15年度自治宝くじ助成事業により「出作コミュニティ広場」造成工事が完了しました。当広場は、宝くじの収益金の助成を受けて整備したもので、今後地域の皆さんの様々なコミュニティ活動に利用されることとなります。



▲造成工事完了後の出作コミュニティ広場

随想

人との絆きずな・ふれあい

北黒田 竹田 純子



主人と小さな舟の櫓を漕ぎ人生という川を進む。数カ月前大阪で定年慰労宴に招かれ夫婦で出席し、主人も同僚の皆様と「永い絆」を思い振り返り、感動したことであろう。人生の節目として心に深く残ることができた。その夜私は、過ぎし幾歳月に思いを馳せて、私の後ろ跡を振り返る。子どもを持つ親となった私。父母も子を思い慈しみ、育ててきた事を思うと感謝し「親子の絆」を強く知る。

三十過ぎで母を亡くし忍んでは泣いた。母が恋しかった。不自由な身でも母が心配で病室に泊まっていた父、そんな父を残して母は逝く。泣き叫ぶ父の姿を今でも忘れない。「夫婦の絆」を見た様だった。父や母の体の具合が良くない時、手を差し伸べてくださった伯母や義姉たち。温かい心、小さい三人の子のいる私を助けて頂き、身にしみて嬉しく思った。「助け合う絆」を、あの時教えて頂いた。

とで心が塞いでいた折、娘に勧められたサークルを、一度はやめようとしたが続けることにする。書くことで無心になり、心も癒された。「サークルでの人の絆」。人は老いてゆくもの。一人では生きていけない。助け合ったり支え合ったりして生きる。だからこそ地域の方とのふれあい「絆」が大切なことのように思える。

父母のために多くの人に助けて頂いた私として、何か人様のお役に立つことができると、ボランティアをする。父や母とかわせて頂き「人との絆」、心のふれあいを大切にさせて頂ければと思っている。これからは高齢化時代、少子化時代になろうとしている。だからこそ助け合い、支え合い、寄り合い、庇い合い、「人との絆・ふれあい」を、人を思いやる心の大切さを、次の世代へと伝えられる様、願っている。